

「平成 28 年度 図書館・歴史資料館要覧」の歴史資料館分の(案)です。

古賀市立歴史資料館



金銅製歩揺付飾金具推定復元図

(提供：九州国立博物館)

船原古墳遺物埋納坑出土馬具類



金銅装心葉形杏葉

(CT 画像提供：九州歴史資料館)

14. 歴史資料館の沿革

昭和 47 年、日本住宅公団による花鶴丘団地の開発を機に鹿部山を中心に数多くの遺跡の存在が確認され、同年古賀町文化財研究会が発足し、福岡県教育委員会、九州大学文学部考古学研究室と合同で鹿部山遺跡発掘調査を行いました。この調査を契機に古賀町の文化財への関心が高まり、その後、古賀町文化財研究会は町内の研究者を委員とした古賀町文化財調査委員会として長く活動を続け、平成 15 年には古賀市文化財保護審議会へ発展しました。

古賀町は昭和 30 年に、旧古賀町、青柳村、小野村の一町二村が合併して誕生しました。合併 30 周年記念事業の一環として、古賀町誌の発行が企画され、昭和 57 年に古賀町文化財調査委員会が編纂委員となって編纂が開始され、昭和 60 年に古賀町誌を発行しました。これを契機に郷土誌(史)研究が広がり、昭和 60 年から歴史講座を開講しました。こうした郷土の歴史文化財の関心の高まりが、平成 6 年の歴史資料館開館の機運を導きました。

年号	年	月	事	跡
平成	4	8	古賀町複合文化施設建設検討委員会発足	
	6	11	複合文化施設サンフレアこが(2階)に歴史資料館開館	
	8	4	初代館長 安武 敏夫 就任	
		9	企画展「くらしック民具展」	
	9	8	企画展「旧石器時代展」	
		10	企画展 古賀市市制施行記念「江戸時代展」	
	10	2	企画展「ふるさとの仏像展」	
		4	永浦古墳群発掘調査(甲冑他出土遺物一括平成 17 年に県指定文化財)	
		8	企画展「ふるさとの道と文化」	
	11	2	企画展「こがの近代工業のあゆみ」	
		3	企画展「滑石は語る」	
		8	企画展「海辺のおくりもの～玄界からのメッセージ～」	
	12	1	企画展「古賀の絵馬 神に託したふるさとの心」	
		4	第 2 代館長 石井 忠 就任	
		8	企画展「みる きく ふれる考古学」	
			鹿部田淵遺跡発掘調査で大型建物群跡確認(平成 21 年県指定史跡)	
		9	企画展「唐津街道の宿場 今よみがえる青柳宿」	
	13	6	馬渡・東ヶ浦遺跡発掘調査(青銅武器一括平成 20 年県指定文化財)	
		6	広報こが「海からのメッセージ」の連載開始	
		8	企画展「葦の波―葉王寺廃寺と古賀の瓦業」	
			博物館実習受け入れ開始	
	14	7	企画展「剥製動物園 里山の動物」	
		10	糟屋地区文化財巡回展「発見!かすや」	

年号	年	月	事	跡	
平成	14	11	漂着物学会福岡大会（第2回全国大会）	漂着物特別展開催	
	15	5	歴史講座を自然史・歴史講座と改称し、年間受講制とする		
		8	企画展「古賀のむかし 鹿部山遺跡から馬渡・束ヶ浦遺跡まで発掘の30年」		
		9	古賀市文化財保護審議会が発足し、会長に西谷 正 九大名誉教授 就任		
	16	1	糟屋地区文化財巡回展「なつかしのオモチャ展」		
		7	企画展「シーカヤックをつくる 黒潮の果て 極北民族の技(アリュートの皮船)」		
	17	11	第19回国民文化祭ふくおか2004 とびうめ国文祭 in 古賀開催「風と潮のロマンス 対馬暖流漂着ものがたり」		
		4	古賀市市制施行10周年記念誌編纂開始		
		10	企画展 九州国立博物館開館記念協賛「甲冑に身を固め、頭椎大刀を佩いた人たち」		
	18	1	糟屋地区文化財巡回展「糟屋の古墳」		
		7	企画展「稲作に勤しむ」		
	19	7	企画展「古代幻想－小林恒火子の世界－願いかなえたまえ」		
		11	古賀市市制施行10周年記念誌『古賀市うるわし』刊行		
	20	11	古賀市市制施行10周年記念企画展「版画で歩く唐津街道」		
		7	企画展「仮面の告白 お面にこめられた喜怒哀楽」		
		21	7	古賀市複合文化施設運営協議会設置	
			8	企画展「郷土への眼差し－先人たちの足跡－」	
		9	複合文化施設2階フロア入館者総数20万人突破		
		9	企画展臨時企画展「胡蝶乱舞 一つのを追いかけて」		
		11	企画展「『百のうた千の想い 甦る平和百人一首』原画展」		
		22	7	福岡県緊急雇用対策事業 古賀市教育委員会所蔵民具整理台帳作成業務開始	
			7	企画展「古銭への誘い」	
			11	鹿部田淵遺跡が整備され、古賀市で初めての史跡公園「みやげ史跡公園」が開園	
	11	11	企画展「甦る鹿部田淵遺跡の時代」		
		23	3	福岡県緊急雇用対策事業 古賀市教育委員会所蔵民具整理台帳作成業務完了	
	24	4	自然史・歴史講座の通年受講制を廃止。毎回参加者を募集し、開催日を原則土・日曜日と改める		
		7	企画展「寄贈物譚」		
		8	福岡県緊急雇用対策事業 古賀市教育委員会所蔵古文書等資料デジタル化業務開始		
		11	企画展「木村辰也の邪馬台国版画展」		
		3	福岡県緊急雇用対策事業 古賀市教育委員会所蔵古文書等資料デジタル化業務完了		
	7	7	企画展「キノコの博物誌」		
		11	企画展「赤星孝生誕100年展」		

年号	年	月	事	跡
平成	25	2	個人所蔵古文書等資料デジタル化業務開始	
		2	個人所蔵古文書等資料デジタル化業務完了	
		4	第3代館長 村山 美帰子 就任	
		5	福岡県緊急雇用対策事業 古賀市教育委員会所蔵古文書の保存・後世伝承業務開始	
		7	企画展「石碑のつぶやき」	
		11	福岡県緊急雇用対策事業 古賀市教育委員会所蔵古文書の保存・後世伝承業務完了	
	26	7	企画展「ゴジラを支えたデザイナー『特撮美術監督 井上泰幸展』	
		11	開館20周年記念特別展「『企画展を振り返る』 時を超え、そして未来へ」	
	27	2	古賀市教育委員会所蔵古文書等資料デジタル化業務開始	
		3	古賀市教育委員会所蔵古文書等資料デジタル化業務完了	
		7	企画展「昔話と道具たち」	
	27	12	古賀市教育委員会所蔵古文書等資料デジタル化業務開始	
	28	2	古賀市教育委員会所蔵古文書等資料デジタル化業務完了	
		4	第4代館長 木村 眞由美 就任	
		7	「古賀市複合文化施設サンフレアこが 市立歴史資料館」の名称廃止〔古賀市複合文化施設条例廃止〕	
			古賀市複合文化施設運営協議会の廃止〔古賀市複合文化施設運営協議会設置規則廃止〕	
		8	「古賀市生涯学習センター(通称：リーパスプラザこが) 市立歴史資料館」へ名称変更〔古賀市生涯学習センター条例施行〕	

15. 歴史資料館の活動目標

歴史資料館の運営方針

- (1) 古賀の歴史がわかる重要な資料・遺物は常設展示とし、その内容や展示方法に変化を持たせる。
- (2) 企画展、自然史・歴史講座などを開催し、市民の自然・歴史に対する理解や関心を深める。
- (3) 日常的に情報を発信するとともに、展示ケースを使用した小規模展示などで、市民に積極的に利用される資料館づくりを行う。
- (4) 考古、歴史、民俗、博物学など幅広い展示を行い、市民に学習機会の提供を行う。

平成 28 年度の目標

- (1) 郷土古賀の歴史を学習する自然史・歴史講座を年 4 講座開催〔3 講座（一般向け）を各 1 回開催、1 講座（子ども向け）を 8 回開催〕することとし、講演会のほか、体験学習や、史跡・社寺等に出向いての現地学習を行う。このうち子ども向けの 1 講座（8 回）は、夏休み企画として小・中学生を対象とする体験学習を行い、子ども対象講座の拡充を図る。
- (2) 船原古墳についてのコラムを専門家に執筆いただき、「広報こが」に年 6 回掲載して、市民などの関心を高めるとともに、船原古墳に関する最新情報の展示を行う。
- (3) 古文書、民具、写真など郷土に関わる資料の収集を行うとともに、地域の高齢者から昔の生活の様子など古賀の歴史に関する話を伺い、それらの整理・保存に努める。
- (4) 「新 古賀風土記」改訂版の発行。

16. 歴史資料館の組織 予算・決算

組 織

(平成 28 年 5 月現在)

職員内訳…館長 1 名、職員 2 名、臨時職員… 1 名

	区 分	事 務 分 掌
1	館 長 (歴史資料館)	歴史資料館の統括、渉外
2	係 長	歴史資料館の統合的な管理・運営、業務の統括指導
3	職 員	企画展、自然史・歴史講座、常設展示事務、ギャラリー・視聴覚室の貸館業務、冊子販売事務、施設見学受入事務、就業体験受入、広報業務、ホームページ更新、資料の収集・整理・保存・管理、寄贈品の受入ほか

予 算 ・ 決 算

(平成 28 年 5 月現在)

経費	経 費	平成 27 年度 決算額	平成 28 年度 予算額	摘 要 (平成 28 年度)
	合 計 (A+B)	19,831,350	24,909,000	
A	人件費	18,685,144	21,656,000	職員 2 名、嘱託職員 1 名、臨時職員 1 名、 企画展臨時職員 (1.5 ヶ月間) 1 名 (※)
B	企画展、自然史・歴史 講座の経費	386,501	1,928,000	企画展 1 回 (※) 自然史・歴史講座 (4 講座：計 11 回)
	物品・施設修繕料	0	76,000	物品等修繕料及び展示室修繕料
	資料製作委託料	106,693	111,000	古文書デジタル化業務委託
	運営事業費	252,060	184,000	報償費、要覧等印刷費
	その他の事務費	400,952	954,000	

(※) 平成 28 年度の企画展は文化課文化財係の所管事業〔国指定記念企画展「(仮題) 船原古墳展」〕

17. 歴史資料館の利用案内

市民の皆さんの教育、学術及び文化の発展を支援するため、文化的価値を有するさまざまな資料を展示するとともに、見学者の質問に応じています。

開館時間	火曜日～日曜日 午前 10 時～午後 6 時	
休館日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎週月曜日〔※平成 28 年 8 月以降は、月曜日が祝日の場合は、翌平日〕 ・ 原則として月の第 4 木曜日 (資料整理日) ・ 年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日) ・ 特別整理期間 ・ 企画展の前後は資料入れ替えのため臨時休館 	
入館料	無 料	
展 示	展 示 室	縮尺 5000 分の 1 の古賀市全体の地形模型とバックモニターで古賀市の史跡・文化財・民話などを紹介 ----- 主に市内で出土した考古遺物、民俗資料などを展示 ----- 可動式ショーケースなどを使い、テーマを定めたスポット展示 (1～2 ヶ月程度) を実施 ----- 市内の史跡・文化財などを収録した DVD を閲覧できるコーナー設置 ----- 縮尺 5 分の 1 の「船原古墳遺物埋納坑遺物出土状況模型」(レプリカ) を展示
	ギャラリー	年 1～2 回ほど歴史資料館事業の企画展を開催

自然史・歴史 講座事業	古賀市内や周辺の自然と歴史を学び郷土古賀を再認識できるよう、講座（講演会・ 現地学習・体験学習など）を開催
その他	見学者（団体など）に対する館内展示資料の説明や、プロジェクターなどを用いて のミニ講座の開催（事前申込み要） 史跡マップ、展示資料パンフレットなどの資料提供

《歴史資料館展示室の船原古墳コーナー展示の一例》



『古墳時代の“馬”に馬具の飾りをつけてみよう!』

歴史資料館展示室の船原古墳コーナーに、古墳時代の馬の等身大のパネル（絵）を設置。色々な馬具の飾りつけ（マグネットで着脱）をして遊べるようにし、子どもたちが楽しみながら馬具などについて学ぶことができるようにした。

18. 平成 27 年度事業報告及び 平成 28 年度事業計画

(1) 平成 27 年度事業報告

《自然史歴史講座・企画展・資料館展示》

事業名・講師等	開催日	参加者数	内 容〔開催場所〕
第 1 回自然史・歴史講座 【現地学習：バス利用】 ガイド：古賀市史跡案内 ボランティア	5 月 29 日(金)	20 人	「古賀の歴史探訪 小野の里めぐり」 〔古賀市〕 船原古墳（車中から）・小山田斎宮・十三 仏板碑・飯尾理入の墓・白髭神社・東前寺・ 河内池ほか
第 2 回自然史・歴史講座 【講演】 講師：加藤 和歳 氏 (九州歴史資料館 文化財調査室)	6 月 7 日(日)	76 人	「船原古墳の科学調査最前線」 〔古賀市役所 501～503 会議室〕
第 3 回自然史・歴史講座 【講演】 講師：土屋 富子 氏 (土屋ミニ子ども図書館「とんからりん文庫」主宰)	8 月 2 日(日)	30 人	「むかあしむか あったとさ ～民話にでてくる民具たち～」 《企画展関連事業》 〔サンフレアこが 視聴覚室〕
第 4 回自然史・歴史講座 【現地学習：バス利用】 ガイド：古賀市史跡案内 ボランティア	8 月 20 日(木)	7 人	「夏休み史跡探検隊 子どもカメラマンが行く」 対象：小学 5・6 年生 〔古賀市〕 みあけ史跡公園・青柳宿・天降神社
第 5 回自然史・歴史講座 【現地学習：バス利用】	10 月 3 日(土)	30 人	「長崎街道の宿場を訪ねて ～黒崎宿から木屋瀬宿まで～」 〔北九州市〕 曲里の松並木・立場茶屋銀杏屋・長崎街 道木屋瀬宿・木屋瀬宿記念館ほか
第 6 回自然史・歴史講座 【現地学習：バス利用】	11 月 29 日(日)	37 人	「甦る伊都国歴史浪漫 ～伊都国歴史博物館と糸島の 史跡めぐり～」 〔糸島市〕 櫻井神社・平原歴史公園・伊都国歴史博物 館
合 計		200 人	

企画展	【展示など】	7月24日(金) ～ 8月30日(日)	1,552人	「昔話と道具たち」 ※先人が作り出した生活民具などを昔話や伝説などを通して紹介、展示。 〔サンフレアこが ギャラリー〕
	【大型紙芝居上演】	7月30日(木) 8月7日(金) 8月23日(日)	38人 43人 21人 <hr/> (小計102人)	※古賀紙芝居サークル「カチカチ会」と連携し、民具が登場する昔話などの大型紙芝居上演を3回実施。 〔サンフレアこが 視聴覚室〕

資料館展示室の展示	サンフレアこが改修工事後のリニューアルオープン(平成28年2月)に際し、歴史資料館展示室の展示資料について大幅な見直し・入替えを行うとともに、キャプション(説明文・名札)についても、文字を大きくし、ふりがなを振るなど、読みやすい表示にした。 船原古墳に関する常設展示コーナーも、展示パネルなどを刷新し、最新情報の展示などを行った。
-----------	--

《通年の活動》

○広報業務

平成27年4月から平成28年3月まで「広報こが」に歴史資料館展示室の展示内容や企画展、自然史・歴史講座のお知らせなどを掲載。

自然史・歴史講座の講演会及び企画展については、市内公共施設などにポスターを掲示するとともに、ホームページに掲載して周知。

○教育普及業務

児童・生徒の教科学習や就業体験、一般団体の見学を受入れた。

小学校教科学習・見学	5校	市内の小学校4校〔うち1校は2回〕 市外の小学校1校
北中学校区リーディングリーダー-見学	1件	
一般団体見学	2団体	
高等学校就業体験	1校	福岡工業大学附属城東高等学校

○刊行物

- ・企画展「昔話と道具たち」の周知用チラシ2,000部・来館者配布用パンフレット1,000部
- ・「れきしのアルバム」新版1種(第40号)1,000部・改訂版2種(第11号・第13号)各1,000部

○所蔵資料整理業務

古賀市教育委員会所蔵の「川嶋家資料」について、後世継承のためデジタル化を行った。

○資料収集整理活動

平成 27 年度の寄贈者は 2 人。

- ・江戸時代末期の宿札 3 枚ほか 2 点（青柳宿で下ノ町茶屋を営まれていた城戸家に保管されていた品）。
- ・書籍『福岡藩士平井一快日記録解題』1 冊（平井一快日記録研究会発行）

このほか、昔から地域で行われてきた祭や行事、産業、生活の様子など古賀の歴史に関する事を、その地域の高齢者などにかがいがい記録に残すとともに、個人所蔵の古文書類の確認作業などを行い、郷土史料（資料）として保存できるよう情報収集を行った。

（2）平成 28 年度事業計画

《自然史歴史講座・企画展・資料館展示》

事業名・講師等	開催予定日	内 容（仮題）	場 所（予定）
第 1 回自然史・歴史講座 【現地学習：バス利用】	6 月 12 日（日）	「船原古墳の馬具に注目！ ～九州歴史資料館科学調査 最前線～」	〔小郡市〕 九州歴史資料館
第 2 回自然史・歴史講座 【体験学習】	〔全 8 回〕 7 月下旬 ～ 8 月中旬	「夏休み子ども歴史講座 ～船原古墳と馬具のナゾ～ 対象：小・中学生（1 回 10 人程度） ※船原古墳についての説明及び 船原古墳に関連する紙粘土工作 など	〔サンフレアこが 視聴覚室〕 ※平成 28 年 8 月か ら名称変更 〔リーバスプラザ こが 歴史資料 館 中会議室〕
第 3 回自然史・歴史講座 【講演】 講師：重藤 輝行 氏 （佐賀大学 芸術地域デザイン 学部 教授）	11 月 19 日（土）	「船原古墳とその時代」 《企画展関連事業》	〔リーバスプラザ こが 交流館 多目的ホール〕
第 4 回自然史・歴史講座 【現地学習：バス利用】 ガイド：柳川市観光ボラン ティア	3 月中旬頃	「柳川で古賀の歴史に出会う ～立花道雪・宗茂と薦野氏・ 米多比氏～」	〔柳川市〕 柳川市内の史跡な ど数箇所

企画展 【展示など】	11 月初旬～ 12 月初旬	国史跡指定記念企画展 「船原古墳展」 〔（※）文化課文化財係所管事業〕	〔リーバスプラザ こが 歴史資料館 展示室ほか〕
---------------	-------------------	---	--------------------------------

（※）平成 28 年度の企画展については、文化課文化財係が所管する国史跡指定記念 企画展「（仮題）船原古墳展」を、文化振興係（歴史資料館）も連携・協力して実施。

資料館展示 船原古墳に関する最新情報 パネル展	常 設	九州歴史資料館からいただく調査の成 果などに関する最新情報などを展示	〔リーバスプラザ こが 歴史資料館 展示室〕
資料館展示 スポット展示	年間数回	テーマを設けて一定期間展示	〔リーバスプラザ こが 歴史資料館 展示室〕

※歴史資料館展示室にて実施する船原古墳に関する最新情報パネル展については、市の施設などにおいても出張展示（ミニ展示）を行い、船原古墳についての情報を発信する。

《通年の活動》

○広報業務

- ・船原古墳に関するコラムを、『広報こが』に年6回掲載し、同時にホームページにも掲載。
- ・「自然史・歴史講座」、「企画展」などの事業内容・参加案内を、『広報こが』及びホームページなどに掲載。

○職員研修

近隣の歴史資料館などを視察見学、県主催研修等への参加。

○教育普及業務

- 児童・生徒の教科学習や就業体験、一般団体見学などの受入
- ・小学校の社会科・総合的な学習や一般団体の見学
 - ・市内中学校の職業体験「ドリームステージ」
 - ・高等学校の就業体験「インターンシップ」

○刊行物

- ・企画展「(仮題) 船原古墳展」の周知用「チラシ」2,000部・来館者配布用「図録」2,000部
- ・「新古賀風土記」の改訂版 3,000部

○所蔵資料整理業務

古賀市教育委員会又は個人所蔵の古文書について、後世継承のためデジタル化を行い、保存に努める。

○資料収集整理活動

民俗資料などの寄贈を受けた場合に、資料の性質を見極めて受入れを行う。

また、昔から地域で行われてきた祭や行事、産業、生活の様子など古賀の歴史に関する事を、その地域の高齢者などにうかがうとともに、個人所蔵の古文書類の確認作業などを行い、郷土史料(資料)として保存できるよう情報収集・整理を行う。

19. 歴史資料館の利用状況

○ 開館日数及び来館者数

サンフレアこが2階（資料館展示室・ギャラリー・視聴覚室）来館者

月	開館日数	来館者数	月	開館日数	来館者数
4	25	731	12		
5	25	1,650	1		
6	24	713	2	24	5,288
7	24	1,213	3	26	2,309
8	26	2,373	計	174	14,277
9			月平均	25	2039.5
10			日平均		82
11					

(注) 平成27年9月1日から平成28年1月31日の間(5ヶ月間)は、サンフレアこが施設改修工事のため休館。

※上記のうち、ギャラリー・視聴覚室の利用状況

社会教育団体などの展示・講演活動・研修活動、一般教室生の作品展など（歴史資料館事業を除く）。

43件 来館者数 5,818人

（施設改修工事のための休館期間を除く）

20. 歴史資料館事業

(1) 企画展 来館者総数 1,654人

○【展示など】

「昔話と道具たち」…昔話や古賀に伝わる伝説の紹介と、昔話などに登場する民具類の展示など

会 期：7月24日(金)～8月30日(日)
33日間【歴史資料館の休館日を除く】

会 場：サンフレアこが ギャラリー
来館者数：1,552人

昔話や伝説の世界を道具に注目しながら紹介し、様々な民具類を展示するとともに、昔の民家の囲炉裏のある居間や台所の様子などを手作り再現するなど、懐かしい展示空間を創り出した。

展示内容について楽しんで理解を深められるよう、児童・生徒に対しては展示資料から出題した「昔話クイズ」を実施し、その参加者には参加賞を進呈。また、昔話の絵本コーナー、昔話のモチーフ(たぬき・かに)などの折り方を教える折紙コーナーを設置するなど、幅広い年代の方々が楽しみながら学べるよう工夫した。



パンフレット表紙



「かさじぞう」に登場する蓑と笠(写真右)・
「カチカチ山」に登場する背負子(写真左)
※背負子は宇美町教育委員会所蔵品



「たぬきの糸車」に登場する糸車

○【大型紙芝居上演会】

実施日：7月30日(木)・8月7日(金)・8月23日(日)

会 場：サンフレアこが ギャラリー

来館者数：102人

出 演：古賀紙芝居サークル「カチカチ会」

古賀の民話を保存・伝承し、古賀市の魅力の発見やPRのために活動している古賀紙芝居サークル「カチカチ会」と連携し、民具が登場する昔話や古賀に伝わる伝説などの大型紙芝居を、3回上演した。(1回につき、2～3作品:「千鳥姫」・「薬王寺温泉物語」・「天狗の笛」「かさ地蔵」など)

効果音なども用いた臨場感あふれる演出に、子ども達はもちろん大人も、紙芝居に引き込まれ楽しんでいった。

ギャラリーでの展示「昔話と道具たち」との相乗効果もあり、昔話や伝説の世界をより楽しむことができた。

また、古賀紙芝居サークル「カチカチ会」の活動を、市民に周知できる機会にもなった。



古賀紙芝居サークル「カチカチ会」による大型紙芝居上演の様子

(2) 自然史・歴史講座 全6回 参加者総数 200人

○第1回 「古賀の歴史探訪 小野の里めぐり」〔現地学習／バス利用〕

実施日：5月29日(金)

見学先：〔古賀市〕船原古墳(車中から)・小山田斎宮・十三仏板碑・飯尾理入の墓・白髭神社・東前寺・河内池ほか

ガイド：古賀市史跡案内ボランティア

参加者：20人

船原古墳をはじめ、古賀市の谷山から小山田、薬王寺の史跡などを巡って古賀の歴史について学び、歴史の面から古賀の魅力を知ってもらう機会として企画した。

史跡などの案内は、古賀市史跡案内ボランティアの方に協力いただき、詳しい説明と、また参加者からの質問にも丁寧に応じていただき、郷土古賀の歴史について理解を深めることができた。



古賀市史跡案内ボランティアの方による説明 (白髭神社境内にて)

○第2回 講演会「船原古墳の科学調査最前線」

実施日：6月7日（日）

会場：古賀市役所 501～503 会議室

講師：加藤 和歳 氏（九州歴史資料館 文化財調査室）

参加者：76人

平成25年3月に船原古墳遺物埋納坑（古賀市谷山）から出土した金銅装馬具類は、その種類の多さ、数、壮麗な装飾などから全国的に注目されている。

現在、電子顕微鏡など科学機器を使用したミクロレベルの観察や、X線CTスキャナなど最新鋭の機材を用いた調査・分析を九州歴史資料館で進めている。

今回の講座では、発掘の当初からこの調査に携わっておられる九州歴史資料館文化財調査室の加藤和歳氏を講師に迎え、現段階での調査成果・分析方法・保存処理の技術など、出土品を通して科学調査の最前線についてお話しいただいた。



講演される加藤和歳講師

○第3回 講演会「むかあしむかし あったとさ ～民話にでてくる民具たち～」

《企画展関連事業》

実施日：8月2日（日）

会場：サンフレアこが 視聴覚室

講師：土屋 富子 氏（土屋ミニ子ども図書館「とんからりん文庫」主宰）

参加者：30人

今回の講座は、ギャラリーで開催中の企画展「昔話と道具たち」の関連事業として実施し、講師には古賀市のご出身で現在福岡県吉富町で地域文庫を開かれている土屋富子氏をお迎えした。

民衆の間で、語り継がれてきた昔話や伝説などの民話。

昔、囲炉裏の端で祖父母や親から聞くそれらのお話は、子どもたちの楽しみであり、生活や作業に係わる知恵の伝達でもあった。

そうした民話の世界やその中に登場する様々な民具についての説明を、講師が作成されたイラストなどを使い、また歌やワークショップなども交えながら進めていただき、子どもから大人まで分かりやすく、楽しい講演であった。



講師 土屋富子氏の講演の様子

○第4回 「夏休み史跡探検隊 子どもカメラマンが行く」 [現地学習／バス利用]

実施日：8月20日（木） 9時～12時

見学先：〔古賀市〕みあけ史跡公園・青柳宿・天降神社

ガイド：古賀市史跡案内ボランティア

対象：小学5・6年生

参加者：7人

市内の史跡3箇所をバスで巡り、持参したカメラで史跡などを写真に収めながら、史跡案内ボランティアの方の説明を聞き、郷土の歴史を学ぶという現地学習で、子ども達の夏休みの自由研究にも活用できるよう企画した。

自分が住んでいる地域の史跡についての新発見があったり、普段接することの少ない地域の史跡を直接訪ねて新たな知識を得ることができた。

夏の暑い時期ではあったが子ども達は元気に史跡の写真を撮ったり、史跡案内ボランティアの方の説明を聞いてメモしたり、進んで質問する姿が見られた。

これから郷土古賀の歴史に興味を持つきっかけとなることを期待している。



史跡案内ボランティアの方から説明を受ける子ども達 (みあけ史跡公園前にて)



持参したカメラで撮影 (天降神社にて)

○第5回 「長崎街道の宿場を訪ねて ～黒崎宿から木屋瀬宿まで～」

〔現地学習／バス利用〕

実施日：10月3日（日）

見学先：〔北九州市〕曲里の松並木・立場茶屋銀杏屋・長崎街道木屋瀬宿・木屋瀬宿記念館ほか

参加者：30人

長崎街道の宿場である黒崎宿から木屋瀬宿を訪問し学習した。

北九州市指定史跡の立場茶屋銀杏屋では、施設のボランティアガイドの方に立場(街道の中で道の険しいところなどに設けられた休息所)の御茶屋を説明・案内いただき、大名が休憩した座敷の上段の間や2階の間、屋根裏、庭園などを見学。また長崎街道木屋瀬宿記念館の「みちの郷土史料館」を見学し、木屋瀬宿の宿場内をボランティアガイドの方の案内で散策した。

長崎街道の筑前六宿の一つとして賑わった木屋瀬宿内には、西の構口遺構を始めとした史跡や村庄屋・船庄屋など古い建物と町並の再現保存がなされている。

古い建物を所有される各家のご当主からも丁寧な説



立場茶屋銀杏屋

明をいただき、歴史的価値を有する建物を保存・継承していくことのご苦労や重要性についても学ぶ機会となった。

○第6回 「甦る伊都国歴史浪漫 ～伊都国歴史博物館と糸島の史跡めぐり～」

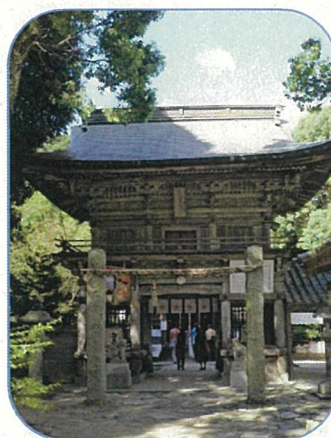
実施日：11月29日（日）

見学先：〔糸島市〕 櫻井神社・平原歴史公園・伊都国歴史博物館

参加者：37人

櫻井神社では神官の方に境内を案内していただき、第2代黒田藩主がこの神社を創建した経緯やいわれ、古墳の石室が神窟として祀られている様子、神社建築の特徴、伊勢神宮と縁が深い櫻井大神宮の特徴などとても興味深い説明をいただいた。

その後、日本最大の銅鏡「内行花文鏡」が出土した国指定史跡「平原遺跡」のある平原歴史公園を散策し、伊都国歴史博物館では館のボランティアガイドの方から展示物に関する詳しい解説をいただき、参加者は伊都国の歴史浪漫に想いを馳せていた。



櫻井神社の楼門

（3）古賀市教育委員会収蔵古文書等資料のデジタル化

市民から寄贈された「川嶋家資料」のうち8点のデジタル化を行った。